

1、おむつ交換－I

小さな足 乳児保育園

子ども 12人 保育士 2人 保育助手 1人 (助手は保育には入りません)

AM 10:30頃

天候が悪く外遊びがなかったので、保育室で遊んでいる子どもを担当の保育士が一人ずつ、いつもの順番で誘い、おむつの交換をしていきます。(おむつをしている子は一人ずつ、おむつがとれ、着替えや手洗いなども自立している子どもは二人ずつ排泄に誘います。) おむつ交換は、子どもが保育士と1対1になれるとても貴重な時間です。子どもは、自分のことをしっかりと見てもらえます。保育士は、育児を通して子どもの発達やその時々の様子を知ることができますし、それに合わせて働きかけることができます。丁寧に関わる時間をとるためには、日課(流れる日課)と大人の仕事が大きな意味を持っています。

靴下を脱ぐ、ズボンを脱ぐ、おむつを外す、お尻を洗う(おむつを交換する時は必ずお尻を洗います)、手を洗う・・・行為を行う前には必ず子どもに言葉をかけ、子どもの反応を待ちます。育児は保育士が一人で行うものではありません。子どもと協働し、いずれは子どもが自立して行えるようになることを見通して関わっていきます。